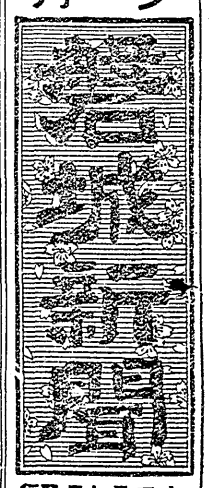
夕刊



十二月七日日曜行

定價（金拾五錢）

廣告料金（特等一段金六拾錢　二段金五拾錢　三段金四拾錢　社告一行金拾錢）

發行所　磐城新聞社

（日曜祭日翌日休刊）

奉天の客舎から

——十一月盡日夜——

鈴木默鐘

下

家庭なく、妻なき孤獨の人は更に其寂しさが深刻なものです。尊兄は、いまの私の氣分をよく知つてくれるんだ。私はそう信じてゐるのでいま奉天の旅宿からこのたよりを書く氣になつたんです。

×

妻あり、いとし子あり、家庭あるものは幸福です。旅にゐても家庭といふ巣があれば、つゞめでも其巣にお歸る、うれしいときめきを感じるでありませう。私には家庭がない、巣が無い、いまぬや私はあてどもなき旅びとの悲哀と寂寥の裡に其旅をつゞけてゐます。平に盞く一人の子供が氣に懸ります

寒夜、滿洲の野に燈る月光を眺めては旅宿の一室で强い酒をアオツテ、せめてこの寂しい氣もちを忘れやうとしてゐます。

郷土の山川がなつかしい平の生活がなつかしくなつてきます。今後幾日滿洲の旅をつゞけるか、いまのところきまつてゐません。これからあてどもなく幾日かの旅の空に彷徨するであらう、このまゝロシアに入り當分歸らずに了ふかも知れません、十二月一日奉天を後に四平街よりチチハルにゆくことになつてゐます。チチハルは現在蘇炳文討伐のため可成り物々としてゐる模様です、しかし何處へ行つても我日本軍の活躍はめざましいものがあります

チチハル市長してゐる金憲立氏は、日本旅順時代、大阪で一面識のあるんですからこの人をたよつてゆくつもりです。御承知の通り金憲立氏は、川島よし子孃の兄さんです。

どこに行つても見知らぬ人ばかり、それでも日本人はお互に親しみを感じるので内地のこと、滿洲の事情など話し會ふことが何よりたのしみです。

平は別に變つたこともありませぬか。S氏によろしくお傳へ下さい、かりに再會不可能となる場合があつても、私にとつては忘れ得ない、いまぬ一人なのです。なんだかこん夜は妙に感傷的になつてきます。

時代警語

○釣りて網せず……（孔子）

孔子の少時は貧賤であつたから時として魚を釣つたが網を以て一時に多くの魚を取らなかつた、また飛ぶ鳥を射落したが決して寢鳥を捕る事をしなかつた今の世は果して斯くの如き心を以て漁る人、獵する人のあるであらうか……

…（自由詩）都會のすべて

古川哲夫

深夜の都會は
ネオンサインに面をつゝむ
都會を憧憬する精神は
一度は淺草に立ちよるであらう
その輕やかなメッデーに
その甘き接吻に
若き心臓はほのかに
燃へたつであらう
銀幕は精神病者の
歡樂の市場である
大空見上る
魔天樓は
文明の自殺場である
都會　文明　闇黑
犯罪　欺瞞　誘惑
これらは都會のすべてゞ
ある
都會から流れる
ものゝ響は
質朴な若者を
魅惑するであらう。

殘されし手紙

菅泉京

破らうとしたこの手紙
捨てようとしたこの手紙
想ひで故に破られず
悲しさ故に捨てられず
燃ゆる想ひの胸の中
末遂らじと誓ひしも
今は夢にと變りけり
涙の日をば重ね來て
殘る手紙に泣きました
君が最後のこの便り
燒き捨てんにもこの手紙
見る毎泪に誘はれて
小さな胸痛みだす
想ひでの多きそれ故に
いつになつても捨てられず
小胸に抱いて泣きました
あゝいたずらなこの手紙
殘る手紙をなんとせう。

新刊紹介

△ローマ字（十二月號）一部二十錢、東京市麴町區丸の内三ノ一二ローマ字ひろめ會

社會の今日

12月8日——殁す（寛政四）△東北平定を伊勢大廟に告ぐ（明治元）△國會開設の主唱者坂垣伯の銅像日光に成る（昭和四）△淺間山大爆發△ドイツ國、經濟國家管理を斷行すべく緊急令を發す（同六）

○

壹の湯の獨りぼつちの
腹撫でて、昔さむらいの腹切おもふ

炭光任

木枯の吹くは淋しいカフエーに、はいれば寒むそな女らの顏

下田秋柿

講談　お蘭陀お蝶

渡邊默禪作

（201）布施長春畫

龍馬の先祖は明智光俊の落胤だとしてある、江州坂本落城の際、光俊の御部屋の方が懷胎中であつたが戰の劍客月根辨治の指南をうけ、技藝めき〳〵と上達し門弟中には肩を双ぶ者が出なかつた、又水練の達人として持囃された、が、卓落不羈大きな望をいだいてゐた、そんなことから眞昭卿に若者のことゝて是ればかはいたく龍馬を最負されりではまん足することが能武張つた一方でも風情があるまいからと歌詠む業なども自ら手解きして呉る程だの道場へ這入つた、二年のつた、といふのも甚麼變る後には免許皆傳眞影流の極か知れない天下の形勢に凭意を究めたものとして折紙ういふ人物を手に附けて置がついた、それから諸藩をけば將來一廉の役に立つと遊歷して歸國する途中、京いふ考へから出たものらし都の四條河原町に藩の屋敷かつた

白川の名所探險といふのがあるので其處へ暫く逗留しつゝ京見物かた〳〵屋敷の者へ劍術を教へてゐたのであつた。

その頃は浦賀ペルリが來た。嘉の引き金と云ふ人もある

◇

さてどうせうかい。マルトモホール の評定

◇

一本釘を打ち込んだ効果はあつた。

◇

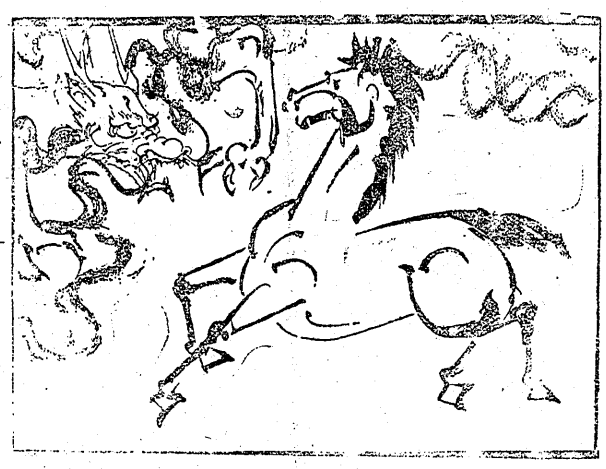
矢野校長上京して卒業生のダンピング

◇

何でもだが女給酌婦數も矢張り平が一番だつた

拈華微笑

磐中と同窓會の對抗、年末でドンゲーム平？



の場所を落ちのびて土佐に來たのが導火線となつて天渡り、才谷といふ所で產の下動搖し攘夷論のアタマを紐を解いた、其の子から數擡げかけた時代で、米艦再代の後城の名の坂本を取つて來パークの和約吉田松陰の高知の士籍に加はつた。龍馬は九代目直足の次男で天保六年に生れた、母はお初期であつたが彼は未だ活幸といつて賢夫人であつた動の舞臺に立たず、一青年生れる時父は黃金の駒が天劍客として雌伏してゐた時から下り、母は黃金の龍が池から上る所をゆめみた。龍馬といふ名にはこんなドラマチックの由來がある。

彼は青年時代から學の人ではなかつた、武を以て一貫した男である、初め土藩

跳跌やら、佐久間象山の捕縛やら、稍や物騷な革命の初期であつたが彼は未だ活動の舞臺に立たず、一青年ことに眞輝朝臣を講じまゐらせた。

竹の椽に敷いた朱毛氈の上へ、徐かに歩を運んで來られた、眞輝は目先の變つた片田舎の賤の伏屋を、興あることに思つたらしく麗しい御機嫌で庭の風景を賞めてゐられる。

『爺や、お蝶は見えないが何方へ參つたか、未だ京より歸宅いたさんとでもいふ譯か』

龍馬は興平を朝臣へお目送りさせてから尋ねると庭先に畏まつてゐた興平は

『はい、實はその娘……むむ、娘がの、と、飛んでもないことになりまして、今じや家にも居りませぬ』

と、おろ〳〵聲手拭を目にあてゝ泣き出した。

言眞昭卿——憚かるところあるから名を變へて置く——

倒幕論の起る時分に、正親町や三條諸卿と過激な運動

明治元年の頃、京の都は攘夷論の熱火線となつて天下騒然たる時代であつた。

興平は思いがけない貴人のお立寄と聞いて、身にあまる冥加と雀躍りしつゝ俄かに戸を開けるやら、座敷を掃くやら、新らしい花臭座を敷くやら、近所の百姓を手傳はせてランテコ舞の大騒ぎをしてから、梢との

竹の椽に敷いた朱毛氈の上へ、徐かに歩を運んで來られた、眞輝は目先の變つた片田舎の賤の伏屋を、興あることに思つたらしく麗しい御機嫌で庭の風景を賞めてゐられる。

『爺や、お蝶は見えないが何方へ參つたか、未だ京より歸宅いたさんとでもいふ譯か』

龍馬は興平を朝臣へお目送りさせてから尋ねると庭先に畏まつてゐた興平は

『はい、實はその娘……むむ、娘がの、と、飛んでもないことになりまして、今じや家にも居りませぬ』

と、おろ〳〵聲手拭を目にあてゝ泣き出した。

ラヂオ

……八日…（木曜）…

仙臺　JOEK

△前七、〇〇　八、〇〇A　ラヂオ體操
△九、〇〇A　氣象
△九、一〇H　料理献立（一牛肉の酢味噌　二、野菜入り牛肉つくね蒸）宮城縣食肉協會　日用品値段
△一〇、三〇A　家庭講座（家庭に於ける工業常識）津田信良
△正午A　時報　氣象
△後〇、〇五　管絃樂　コロナーオーケストラ
△〇、四〇　ニュース
△二、〇〇A　家庭大學講座（倫理學…我と社會）東大講師大島正德
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△五、〇〇A　受驗講座（幾何學）高見豊
△六、〇〇H（子供の時間）お話と讃佛歌（一、お話…お釋迦様のお證りのお話　二、讃佛歌）國安泰嶺
△六、二〇A　コドモのシンブン　村岡花子
△六、二〇　英語講座（中等科）萩原恭平
△六、五五　カレント、トピックス　ハロルド、パーマー
△七、〇〇A　ニュース　氣象
△七、三〇A　國際時局特別講座（總會に移れる日支問題）法學博士山川端夫
△八、〇〇H　少女歌劇（十津川乙女）寶塚少女歌劇月組生徒
△八、三〇A　忠臣藏花暦ラヂオドラマ
△九、三〇A　時報
△九、三一　滿洲よりニュース　氣象

内臓外科
整形外科
泌尿器科
醫學士　内木宗八
平町新川町十九番地

外科
産婦人科
木村病院
電話一六四番

良い寫眞！
最新式設備……新しい技術
寫眞館サクラ
平町田町驛前通り

夜診療
胃腸
極毒
内科　十二指腸病　虫病
專門部　内科
淋病　皮膚病　婦人病
專門部　外科
松村醫院
胃腸　性病
（平町南町電一〇七〇番）

産婦人科
花柳病科
井阪醫院
平町田町（元合津醫院跡）電話五五九番
午前宅診　午後往診　入院應需

難波醫院
醫學博士　難波睦
平町大町新川端（電話五〇二番）
内科　一般

江戸前
當店に於て自慢の大蒲燒
割烹　壽司
開業以來
特に『都壽司』は江戸一流の職人を迎へて食通の皆様方に御賞讃を頂きお蔭様にて大繁昌をいたして居ります。
都壽司は魚榮と御思召して……御ひゐき下さる様御願申上げます。
田町　魚榮
電話四二四番

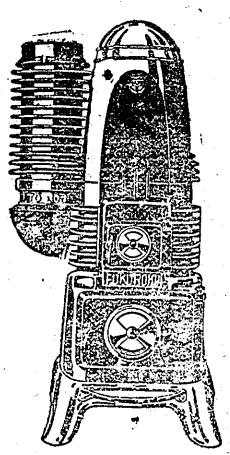
毎度御ひいき有難ふ御座ゐます。
うなぎ御用命は
うなぎ奴
平町田町（電話二二番）
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を！

吸入用酸素
純度99%
度量衡
モノサシ　マス　ハカリ
開内藥局
電話四〇番
番量計
体温計　寒暖計
◎秤ノ取引・糸ノ修繕・垂ノ取引致シマス

耳、鼻、咽喉科
氣管食道科專門
平町南町（電一〇七番）
大和田醫院
大和田郡司
（自炊の便あり）

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーヘ
（デンワ、ミクニ）

嚴冬の征服者
福祿ストーブ
戸毎に福祿！四海は常春！！



電話三七番へ
カタログ御申越下さい早速持參致します
福祿ストーブ福島縣一手販賣
阿部石炭商店
平停車場前

内科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平五〇七番

内臓外科
外科一般
花柳病科
（入院隨意）
平町六丁目（橋際）
木村外科醫院
電話三〇九

愈々廿二日と決つた 鹽業取締平支所落成式

三百五十名を招き盛大に擧行

鹽業取締平支所の新築落成祝賀式は二十二日午前十時から現場狹隘の爲平陽女學校で赤木知事を始め赤土內務部長、重田鹽糸課長、代議士、縣議其他三百五十名を招ぎ盛大に擧行する事に昨六日町村長支會の協議會で決定した、因に當日の出席者には記念品を贈呈し引續き住吉屋本店で百五十名の特別宴會を催すと

豊間漁港設計中 斜路の位置變更

干潮時を見計らつて 夜間工事順調に進行

風水害後の豊間村では去る一日以降漁港のコンクリート工事に着手し干潮の時間を見計らひ毎夜八時頃より翌朝八時頃へかけ三四十名宛就勞高倉技手監督の下に着々進行中で此程其後の經過を視察した土肥土木課長山口技手も進行振りの順調なるを喜んでゐた、因に該漁港の設計中船舶引揚げの斜路は過般の時化に鑑み位置を變更する事になつた

毆打事件 生徒間にも動搖

今日會見の校長と同窓會 決裂か？妥協か

橫井敎諭の生徒毆打事件で同窓會代表からその責任を問はれつゝある橋本校長は六日出縣今七日歸校したが同窓會代表と會見前次の如く語る

人の噂も七十五日といふ等は同窓會の徹底的改革から結局は時の經過が凡てを解決するではあるまい。橫井敎諭處分問題は積極的行動に出づる模樣しい事情も未だ聽取して居らず、其他敎員の風紀問題も未だ精細に判つてゐないから差當りの方針を言明する事が出來ない云々

尚職員の醜聞を知つた生徒前後七十五日の經過が凡て賛成し目下先輩の鎭撫により平穩裡にゞ校してゐるが今七日の回答如何に依つては當人が歸省して居り精で今後を憂慮されてゐる

御期待に副ふ覺悟

橋本校長同窓會に言明

今七日午後一時から橋本校に評議員會を開き經過報告長に會見した關內警中同窓會長以下幹部は校長から及御後の問題に就て協議した

——橫井敎諭歸校後精査の上適當の處置を講ずるし、風紀問題に就ても夫々調査の上近日中滿足を得るやうな回答をする。從來同窓會との間に兎角諒解を欠き勝ちであつたのは校長たる自分の不德の致す處で何とも申譯が無い、今後は相提携して成績の向上に努力する旨の回答を得、その間誠意を存するものと認めてマルトモホールに引き揚げ直ち十圓合計五百五十圓を弔慰金として贈る事となつた

贓物賣買で

同穴の貉三名拘留

內郷村宮字御殿赤塚利之助（三八）高坂齊藤臨平（四二）の兩名は八月中數回に亘り磐炭から裸信號銅線ケーブル線等三百十八圓を竊取し御白堤穴澤新三郎（四三）は情を知つて之を買ひ受けた廉により昨六日何れも平區から拘留處分を受けた

魚相場

小名濱昨六日の魚類水揚相場次の如し

大鯛三〇割—三五　小鯛二三—二四　平目一七—一八、五　かながしら一三　眞鯖五、五—七　水鯖一樽二、二〇錢—二、二五　海老一二

平商明春卒業生 着々就職口決定

矢野校長開拓に上京

來春三月卒業生四十餘名をつて各方面に依賴狀を發送出す平商校では從來傷ましい就職地獄を經驗してゐるが既に安田銀行、秩父セメント、日本郵船、淺野物産處から今年は豫想の如く早くから矢野校長が陳頭に起郡山つ呉服店等からそれ

桃色の氣を漂はせて 平町の暗に咲く毒花

妖魔五百師走の戰線に躍る

他國人からは宛然不景氣知らずの樂天地なるかに想はれてゐる平町は炭鑛の町であり同時にエロテックな桃色の町である。最近風俗取締の資料として其筋で取り纒めた統計によると縣下のカフエー女給五百五十六名中平町はその半ばに近い四名の多數を占めてゐる、最近カフエー、バーは雨後の筍の如く生れ女給の數も年々急激に增加してゐる表面は三圓乃至六圓の給料を與へて昨年同期に比し何れも一割を增し活氣を呈し初めた割六分三厘强に相當する百名を占め市制地郡山五十二名の約二倍半、縣廳所在地福島の九十五名を凌ぐ色の町である。最近風俗取締二十五名と云ふ凄まじさで今後を憂慮されてゐる、更に酌婦に至つては全縣下千二百七十九名中チップだけが全收入となつてゐる

酌婦は全部前借がありこれも二圓以上五圓位までの給料がある事になつてゐるがどの程度に信用出來るものかわからず前借

年冬營の準備を急ぐ 迫る師走の農村

慌しい昨今の街頭 野孃は群るる

……（G）……

▽　△

師走も十日に近づいた、街には慌しく犬も走れば、人も走る！走る！忙しい月だ。然し繁つて農村は無花果、梨、桃、葡萄の移植、等。等。借地耕作の禿爺さんが爐の端でちびたる筆を嚙み締めながら延紙の帳簿を整理する。

▽　△

中旬に入れば先づ七五三祝だ、村の鎭守樣からは終日太鼓の音が——來春入學するはな垂し小僧も縱橫の袴に學帽姿で小さい大手を振りながらお宮詣りだ。冬籠りする米ぐらの掃除も濟ぶ。

畑の灌水、澤庵大根の收穫草苺の補肥だ。年の瀨は日一日と迫つて平町の商店街では一齊に『景品附廉引大賣出し』が初まる、ばつばと城山の奥さん達から歡迎される寒卵をとるに鷄舍の防寒に餘念がなく用意萬端遺漏なきを期して冬籠りをする師走の農村である。

（玲光生）

▽　△

『冬至が過ぎづちめえば日は疊の目一つづゝ延びつちゆうこつた……』と豌豆玉葱の補肥から栗の貯藏庫入れを終え、滋養分が多量だ

日辯口注意▲九紫の人　定業に出精して安全を保つのみ病盜難注意

七赤の人　人の爲めに誤られて地位を失ふ交際に注意▲八白の人　ふん爭し苦痛を長く遺すべき

局關係の現金動く

昨年同期より一割增加

▽　△

郵便局去月中の成績は

△爲替受一、二五三口二六、三三四圓　拂一、五六〇口六三、四四七圓

△貯金受六、三四二口一六八、五六七圓　拂一、七九二口一五五、三八七圓

△成人保險累計一四、四五六口小兒二、三五九

△漁村敎員郡內一部の受難季來る俸給未拂校に勤務する敎員中には年の決定を促進すべく今七日朝矢野校長は多大の期待を以て上京した

盜んだ大金を遊興に撒き散らす

藝妓同伴の豪遊客は賊

昨六日午後十一時頃平驛前で五日頃郡山市柳町某方から出す平商校では從來傷ましい就職地獄を經驗してゐるが既に安田銀行、秩父セメント、日本郵船、淺野物産處から今年は豫想の如く早くから矢野校長が陳頭に起郡山つ呉服店等からそれ

小野新旅館專渡邊ワエ方に藝妓二名を連れ込み豪遊中の不審な男あるを平署草野刑事が聞き込み引致取調べた處須賀川町秋山四一居住白河町下野七生れ太鼓製造業松崎六郎（三九）小野新町藝妓置屋北清館抱藝妓吉彌（三〇）同磐城家支店桃子（三〇）

女房に背かれた男

姦夫との寢物語りに逆上し 相手に瀕死の傷を負はす

內郷村御厩上宿荒川淺次郎（四九）は妻ヨシ（三七）が今曉一時頃情夫なる同字下能日雇に止められたが尙ほ腹の虫が納まらず戸外から樣子を窺ひ喧々の寢物語りに嚇と逆上し雨戸を蹴破つて屋內に躍り込み土間にあつたスコップを揮つて五郎を目茶苦茶に毆打し頭部其他に瀕死の重傷を負はせたのを急報に依り駈付けた平署員に逮捕され目下嚴重取調中である

第一校遠足

平第一校では十三日左記の通り遠足會を催すと

1物見ヶ岡　2谷川瀨　3飯野龍門寺　4平市横山台　5內郷白水阿彌陀堂　6湯本溫泉神社　高等科　1好間小玉川發電所　2四倉セメント

學校荒しは 勿來生れの男

隣縣松原署に捕はる

去月十日茨城縣松原署員が逮捕した茨城縣北並に本縣下に亘つて小學校荒しを働いた勿來町窪田生れ梅吉次男赤津勇藏（三三）は罪狀明白となり多賀郡松原校玄關先よりレインコート一着タイムツオッチ及び赤皮靴價格二十六圓その他六件を自白したので稻葉司法主任の取調後窃盜罪により六日一件書類と共に身柄を水戸檢事之の方面での出世頭である

14齊藤飾氏（舊姓高萩箕輪出身）

四高から東大工科を出て直に鐵道に入り部內切つての俊髦として嘱に三年間に亘つて歐米視察を命ぜられ歸朝後札幌鐵道局の保線課長から神戸大阪兩鐵道改良事務所の兼任所長として關西鐵道界に於ける劃期的大事業とも謂ふべき前記區間の高架工事を主宰中で磐中關係者として斷然鐵道方面進出の第一人者である。神戸市鐵道改良事務所長現住

磐中人國記 七

赤井嶽男記

△完成された人々

上來數名に就て觀た丈けでも夫れ既に斯の如し、其淸次氏、陸軍省の醫務局屬の多士儕々たる蓋し知るべきのみ。多く語るべく差當り材料を有つて居らぬが更に眼を轉ずれば前揭磐城六郎氏と同じ大阪高工を出て宇治火藥製造所の技師となつた草野嘉四郎氏（上小川出の古市榮三郎氏（大浦）出身京都伏見桃山現住）氏既記東京市の學務局長藤井武華溫泉場官行硏伐事務所技師の馬目常松農學士（飯野）東京芝區今里町で獨力工業所を經營してゐる藏前舊藩東京麻布現住）北海道

竹貫水電の取締役をして居る一年志願の陸軍少尉矢內東京芝區今里町で獨力工業所を經營してゐる藏前舊藩東京麻布現住）北海道

國民更生指導講演

縣主催文部省政務次官農學博士東郷實氏の國民更生指導者講演會竝座談會は十三日午前十時から平第三小學校に開催する

風水害遭難者遺族弔慰金

郡下各町村では遭難漁夫五十五名の遺族に對し一人當

東郷博士來平

辯護士

12安藤琢磨氏。早大卒、辯護士

學校を出て暫らくの間は何れかと云へば蹉跎として振はざるものあつたが、倦まず撓まず名詮自稱切瑳琢磨して知られてゐる同姓暢七郎氏を弟に有つ仙臺醫專出の村上五郎氏（湯本出身大阪市住吉區開業）等。等。

は世人は今更ながら中途挫た爲か幾分疎隔を來してゐる。多く語るべく差當り材料を有つて居らぬが更に眼を轉ずれば前揭磐城六郎氏と同じ大阪高工を出て宇治火藥製造所の技師となつた草野嘉四郎氏（上小川出の古市榮三郎氏（大浦）出身京都伏見桃山現住）氏既記東京市の學務局長藤井武華溫泉場官行硏伐事務所技師の馬目常松農學士（飯野）東京芝區今里町で獨力工業所を經營してゐる藏前舊藩東京麻布現住）北海道

折する事なく人生不惑を過ぎて遂々宿願を達成した氏爲政黨の民政派なる事に依

竹貫水電の取締役をして居る一年志願の陸軍少尉矢內東京芝區今里町で獨力工業所を經營してゐる藏前舊藩東京麻布現住）北海道

廣告

平町南町 増田耳鼻咽喉醫院 電話四八二番

平南町 上田醫院 院長 上田耕作 電一二九

メリヤス類の特價賣出し 七五三祝 子供服 オーバー 帽子 ショール メリヤス 毛製品 その他！ 特價品 豊富陳列 ヤルツ 平四一電一四〇

開業披露 齒科一般…口腔外科 四倉町仲町 電話一二四番 日本大學齒科醫學士 長谷川四郎

大塚の特賣 ◎男女耐久學生靴五圓より ◎七五三御祝小供靴八十錢より ◎同 小供ゴム長靴四十錢より 最新形入荷 ◇アンダーシャツ ◇オーバーセイタ ◇流行シャムパー 大塚製靴運動具部 各種豊富に安價に！ 平田町 電話七七番

開店御披露 各位倍々御淸祥の段奉賀上候、扨て去る八月一日類燒以來休業致し居り候處愈々落成昨日より從前通り開業致し候間舊に倍する御贔屓御引立を相仰ぎ度偏に御願申上候 十二月五日 平町南町川岸通 玉よし 電話四二六番

耳鼻咽喉科專門 平町田町七〇番地 山內醫院 醫學士 山內亨吉 病室完備 電話六九一番

內科 外科 花柳病科 入院隨意 平町田町赤心堂病院跡（電話四七五番） 安齊外科醫院

踏判定應需 東京市本郷區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 神誠館

△出生 仲田町七五佐藤幸太郎二女愛 ▲死亡 五丁目四片寄小彌太（六六） 北目町一四六永井七造（一）

舊十一月十日 木曜 新十二月八日 癸卯 先負 平宿 井日

△江名消防檢閱　今七日午前九時から同町小學校で行つた

。隔離。赤井村鹽田星野久幸（六）高久村下山田清野マサ子（三）は何れもヂフテリアと決定昨六日隔離された

平町慶弔錄